

令和4年度 第3回 雄踏中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年11月17日（木） 15時00分から16時30分まで
- 2 開催場所 雄踏中学校 1階会議室
- 3 出席委員 藤田 源大、坂田 英夫、山内 勝己、石川 恵一、加茂 聡美、坂下 正泰、
江間 祐暁、藤田 雅光、関谷 みゆき、豊田 悦子
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 松下 浩隆（校長）、松井 麻紀子（教頭）、井口 卓大（教諭）、大村 知広（教諭）、
石塚 琢磨（教諭）、馬淵 元余（教諭）、松本 和之（教諭）、柳澤 美有（教諭）、
鈴木 清美（教諭）、松下 芙美（養護教諭）、鈴木 淳哉（事務主任）、
藤松 昌一（CSディレクター）

6 協議事項

（1）みんなで雄踏中の生徒を育てよう

- 7 会議録作成者 CSディレクター 藤松 昌一

8 会議記録

教頭より委員総数10人のうち10人全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

議長より、別紙資料に基づき、第2回学校運営協議会議事録の内容の確認があった。

議長の指示により、熟議の前に報告、連絡事項を伝えるよう指示があり、教頭から1年生の防災宿泊訓練や学校評価アンケートの項目についての報告があった。さらに、今後実施予定の3年生の面接指導の協力依頼、体罰アンケートの回収と開封作業の依頼、学校運営協議会自己評価の説明、次回第4回学校運営協議会の日程及び内容の連絡があった。

議長の指示により、教頭から熟議のテーマについて説明があった。その後、3グループに分かれて協議を行い、その後、それぞれのグループより以下の発言があった。

（Aグループ）

- ・本校の生徒は、大変素直。優しいし元気でもある。一方で、横並び意識が強く、自己表現が苦手という課題がある。
- ・人との関わり方が苦手、競争心が少ない。コロナ禍もあり人と関わる経験が少なくなった。
- ・様々な活動において動き出すまでに時間がかかる。これらに対しては、教師の働き掛けが必要。
- ・今回の防災宿泊訓練では、体験を通じて横とのつながりをつくる経験にもなった。今後も活動を続け、地域の力になってほしい。
- ・持ち帰りの荷物の重さが心配。学校での荷物の管理について、保護者への周知も必要。

(Bグループ)

- ・3年生は現在、自分の進路に向かって努力している。仲間意識が強く、誰かが失敗しても助け合う心の広さ、温かさがある。その反面、仲間意識が強いあまり、仲間以外の人たちと協働することや外へ出たり人前に出ようとしたりすることをしない。中学校卒業後が心配。また、コロナ禍もあり外へ行かない生徒が増え、さらに、SNSの普及により複雑化し、こわがりになっている。積極性を育て、他者との関わり、大人との関わりをもつことで、新しい人間関係につなげたい。
- ・『生徒日常心得』（生活のきまり）について、学校でのルールについて、なぜダメなのかを生徒に丁寧に説明したい。交通ルールについては、学校だけでなく家庭での指導も大切。

(Cグループ)

- ・素直な生徒が多い。教員の指導にも素直に従う生徒が多い。半面、指示待ちで自分から積極的に動こうとはしない。今後は自分たちでリーダーシップをとりながら行動できる生徒を育てていきたい。
- ・家庭で祖父母の愛情を受けて育った生徒が多いと感じる。人間関係で困ったときにその対応ができない生徒が見受けられる。そうならないために、自分から予防線を張ってしまい、消極的になる状況があり、保健室の利用が多い点にも表れている。
- ・社会に出る前に強さを身に付けてほしい。幼稚園から中学校まで同じメンバーであることから、地域を大切にすることはそのままに、でも、他者を受け入れる気持ちや外へ踏み出す勇気を持たせたい。
- ・地域で中学生が必要とされる行事、例えば伝統的なお祭りなど、中学生が積極的に参加したくなるような仕掛けを考えていくことが必要。